第８回一宮川流域治水協議会

R6.11.8

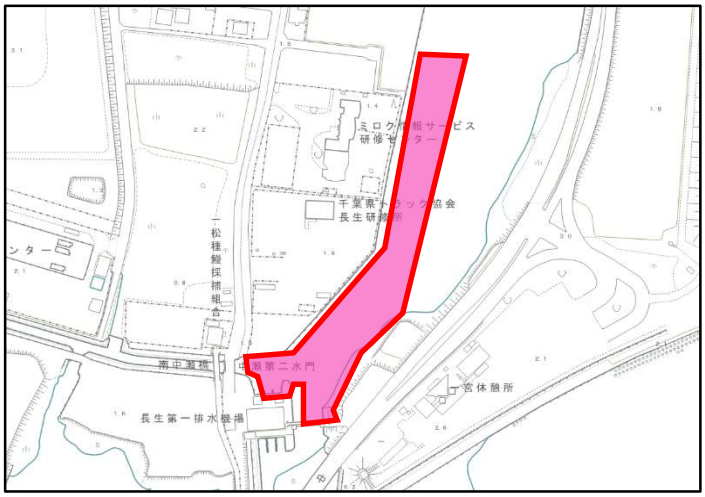
資料2-4

流域対策の取組状況について（長生村）

①　一松川浚渫工事の実施

一宮川最下流部に位置する一松川の堆積土浚渫工事を実施しました。

長生第一排水機場に附属する各水門および上流部の堆積土を除去することで、大雨による上流部の湛水や、道路等の冠水の防止、また大雨時の雨水排水の要である長生第一排水機場をはじめとする主要湛水防除各施設が適切に稼働できることを目的に実施しました。



中瀬第二水門付近を重点的に実施

浚渫土量：3600㎥
W：23m　L:143m　H:0.8m

緊急浚渫推進事業債を活用

②　内水面水域を活用した治水対策への取組

一松川の最下流に位置する湛水防除施設にカメラを設置し、常に内水浸水状況を確認できるようにしており、台風等で大雨が予測される際には、一宮川の増水前に湛水防除施設による強制排水を実施しています。

大雨時に、この内水域の一時貯留機能を最大限発揮することで流出抑制を行い、一宮川への負担軽減を図ることができます。

③　内水ハザードマップの作成

村では、洪水・津波のハザードマップを作成済みですが、国土交通省の示す内水想定区域図作成マニュアルに基づき、現在内水ハザードマップの作成を進めています。令和６年度に基礎調査の実施、令和７年度にマップ作成を予定しています。